

共同研究講座・寄付講座等名： オートファジー調節化合物探索研究講座

研究代表者名： 服部 信孝

開設の目的・概要 等			パーキンソン病（PD）は我が国で2番目に多い神経変性疾患であり、現在のところ根本的治療法は未確立である。本疾患に対して、PDにおいて広く認められ、PDの強力なリスク因子であるグルコセレブロシダーゼ（GBA）のヘテロ接合性GBA変異を有するPD患者に特化したコホート研究を行うことにより、PDにおける炎症病態について検証する。また、得られた知見を非臨床試験で検証することにより、PDの疾患修飾薬の創出へとつながる新たな治療戦略を見出す可能性を秘める。所属教員である服部等は、家族性PDにおけるGBA変異やGBA変異がPDのリスクに関する報告を続けている(Arch Neurol. 2009, Neurobiol Aging 2014)。また、MJFF Global Genetic Cohort研究においても実績を挙げている(Mov Disord. 2023)。なお、本共同研究講座では、2017-2022年度の共同研究において見出されたオートファジー誘導化合物の作用機序解析も引き続き実施する。			
区分	番号	学位論文	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号) : ページ番号	国際共同
英文原著	1		なし			